

データ共有サービス ARCHITREND Drive



ATDrive

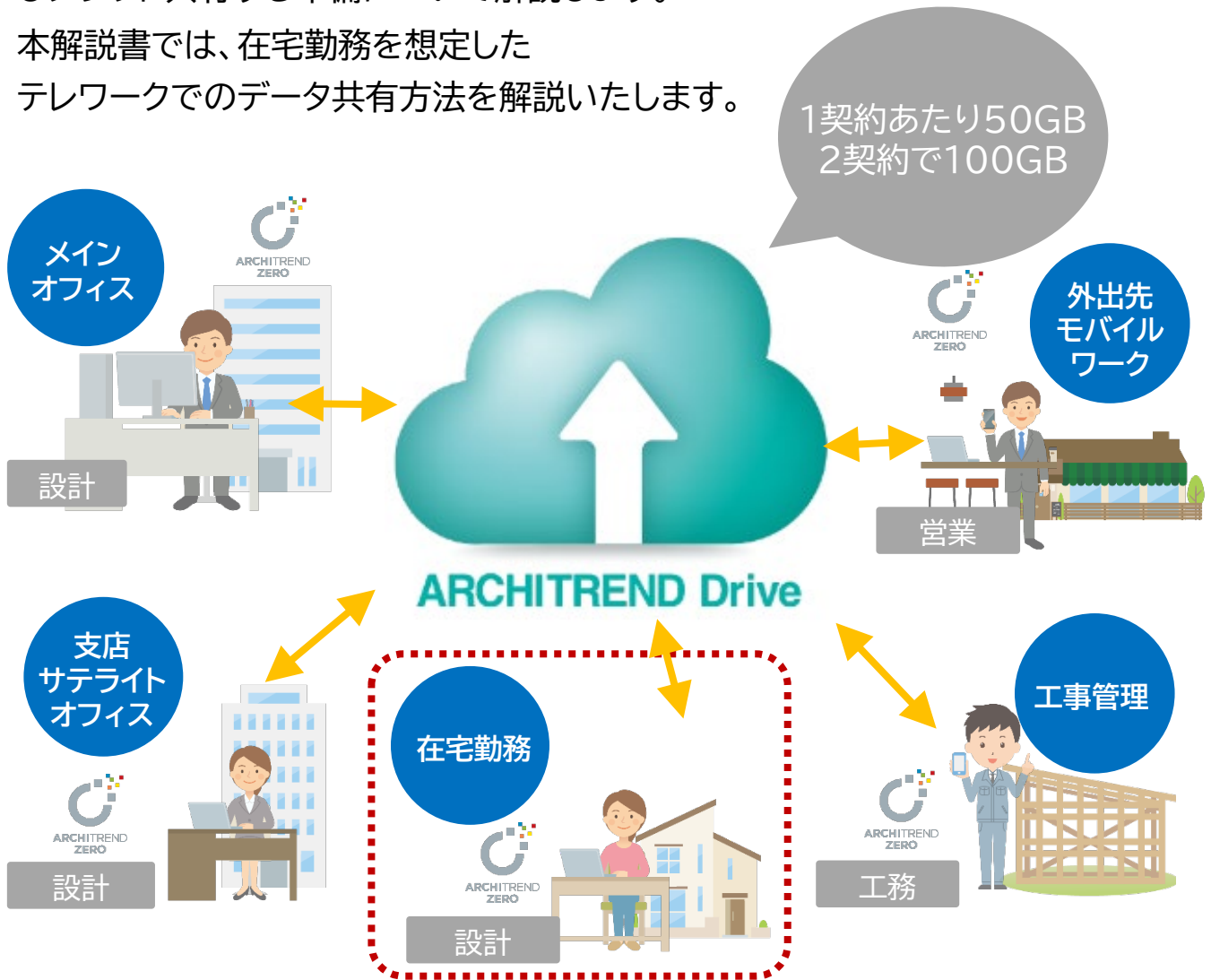
3Dカタログ.com

【テレワーク 準備編】

■テレワークによるデータ共有イメージ	-----	2
■事前準備【初期設定】		
3Dカタログマスタアプリでの設定確認	-----	3
ARCHITREND ZEROでの設定確認	-----	4
■フォルダ共有		
共有フォルダの作成	-----	5
既存データをATDriveにアップロードする方法	----	6・7
■補足 ARCHITREND Drive運用についての Q&A	----	8・9

3Dカタログ.com Bプランの契約が2ライセンス以上ある会社で、拠点をまたいだ ARCHITREND ZEROデータをARCHITREND Drive(以下ATDrive)を利用しクラウド共有する準備について解説します。

本解説書では、在宅勤務を想定したテレワークでのデータ共有方法を解説いたします。



ARCHITREND Driveの特徴

📶 テレワーク対応

いつでも場所を選ばず
ATDrive上のデータを閲覧編集し業務を行うことが可能。
働き方改革を後押しします。

🔒 安心+低コスト

パソコンの故障や紛失、災害時においてデータ資産を保護し情報漏洩を防ぎます。
高額なデータサーバー機や専門的なIT知識が無くてもご利用可能です。

事前準備

ATDriveを利用し、テレワークでZEROデータをクラウド共有する場合には、3Dカタログ.com Bプランのご契約が必要です。

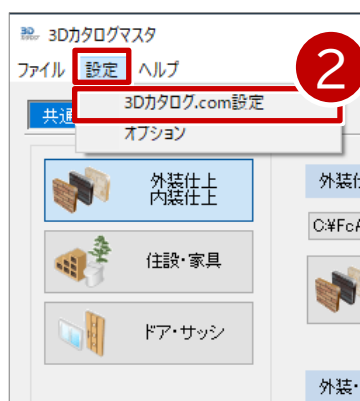
本解説書では、3DカタログBプランの契約がある想定で解説しております。

3Dカタログマスタアプリでの設定確認



1. 3Dカタログマスタアプリを起動し、「設定」-「3Dカタログ.com設定」を開きます。

2. 「3Dカタログ.comを使用する」チェックがONになっていることを確認し、3DカタログBプランのメールアドレスとパスワードを設定します。



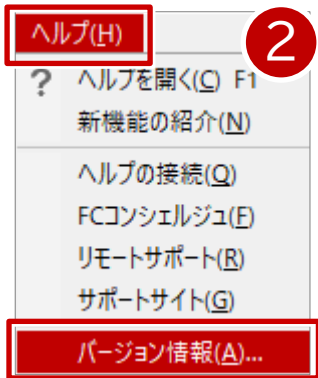
テレワークでATDriveを利用する社員は上記設定を行います。

ARCHITREND ZEROでの設定確認



1. ARCHITREND ZERO 開いて、平面図などの画面から「ヘルプ」-「バージョン情報」の画面を表示します。

2. 3DカタログB会員で動作しているか確認します。ARCHITREND ZERO で「ヘルプ」-「バージョン情報」にて、「3Dカタログ オンライン」【B】と記載されていることを確認します。



3. ARCHITREND ZERO 起動時の物件選択画面にある、「ATDrive」をクリックすることで、ATDriveの物件選択画面に切り替えます。

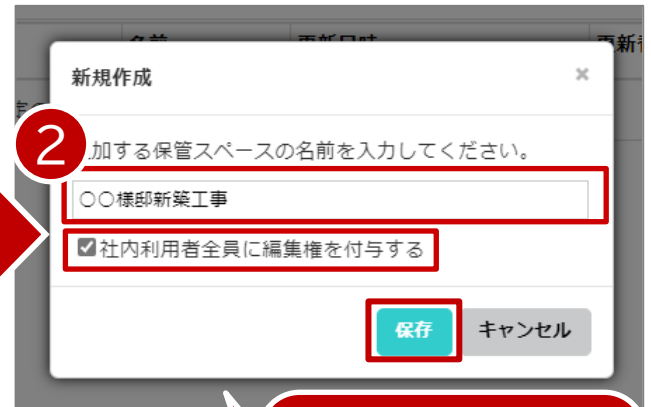


※「HOME」は、ATDriveを設定した社内全員が参照できる保管スペースとなっております。

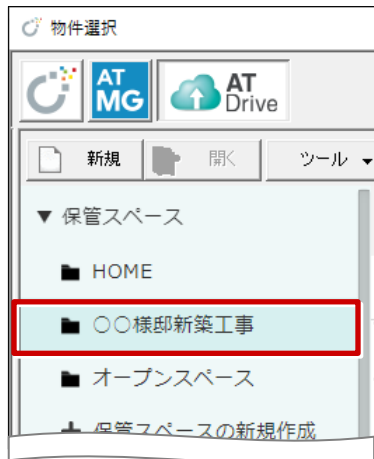
共有フォルダの作成（保管スペースおよびフォルダの作成）

1. 「保管スペースの新規作成」をクリックします。

2. 社内に共有するフォルダ名(今回は〇〇様邸新築工事)を記入し、「社内利用者全員に編集権を付与する」をONで「保存」します。



※重要
この「社内利用者全員に編集権を付与する」チェックONの場合に社員に共有設定されるようになります。



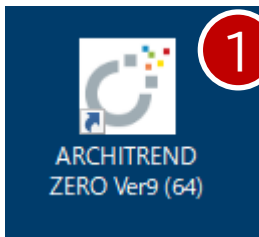
「〇〇様邸新築工事」という保管スペースが作成され社内利用者にこのフォルダが共有されます。このフォルダより下層内に、「新規」作成したZEROデータやファイルが共有されることとなります。

※共有される利用者について

「ツール」-「サイトを開く」からMicrosoft EdgeでATDriveのサイトを開きます。画面下部にある「ATDrive管理」から「利用者設定」を確認することができます。この一覧に記載されている社員に、ATDriveのデータが共有されています。

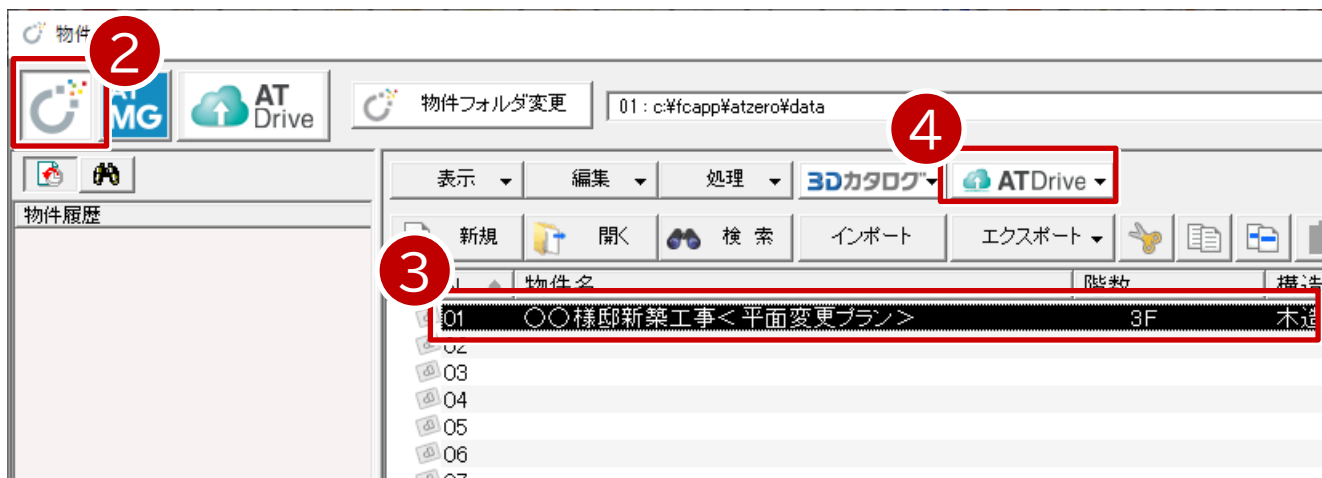


既存データをATDriveにアップロードする方法



1

1. ARCHITREND ZERO を起動します。
2. 物件選択画面を「ZERO」管理に切り替えます。
3. ATDriveに移行したい物件データを選択します。
4. 「ATDrive」コマンドをクリックします。



5. 「物件をアップロード」をクリックします。

6. 保存先のフォルダを選択します。

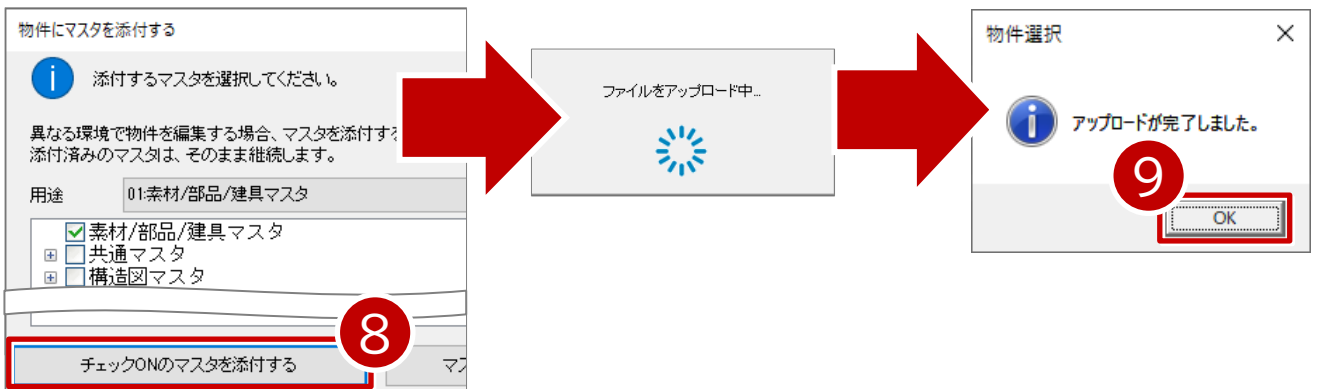
7. 「OK」をクリックします。



既存データをATDriveにアップロードする方法

8. 「素材/部品/建具マスタ」をONにし「チェックONのマスタを添付する」をクリックします。

9. アップロードが完了したら「OK」をクリックします。



10. ARCHITREND ZEROの物件選択画面で「ATDrive」をクリックしてデータがアップロードされていることを確認できます。

状態	名前	更新日時
	〇〇様邸新築工事<平面変更プラン>	2022/09/20 1

保管スペース名は「2021年度」や「〇〇県〇〇市」など自社内で協議の上、お使いやすいフォルダ名にして運用してください。

利用者として設定されている社員全員が、上記ZEROデータの編集が可能となります。

在宅勤務

設計

ATDrive運用についての Q&A

Q. 在宅勤務者Aさんがデータを編集集中に、他の在宅勤務者Bさんはデータを編集できますか？

A. 物件データは1人ずつの編集が可能です。Aさんがデータを編集集中に、Bさんは開くことができません。ロックされた状態となります。

Q. モバイル回線でもATDriveは利用できますか？

A. モバイル回線でのATDrive運用はお勧めできません。光インターネット回線やケーブルテレビ回線など安定した回線を推奨しています。

	光回線	ケーブル回線	モバイル回線
回線速度の目安	下り270Mbps 上り140Mbps	下り30~70Mbps 上り10~20Mbps	下り20Mbps 上り5Mbps
快適度	快適	普通~やや遅い	遅い
ZEROでのご利用	★★★	★☆☆※1	☆☆☆※1
各種ファイル（画像/PDF等）の閲覧	★★★	★★☆	★★☆

※1) 利用する端末の状況（ストレージやバックグラウンドで起動しているアプリの状態）、また、通信環境や契約されている通信速度の条件などにより、十分な状態で利用できない場合があります。

Q. 管理者と管理権者ではない担当者の違いはどのようなものですか？

A. ATDriveでは利用者に「ユーザー権限」「アクセス権限」を定義できるようになっています。違いは下記の通りです。

■ATDrive管理者

社内運用している全ファイル・フォルダの編集権を持ちます。編集、移動、ゴミ箱のクリアができます。保管スペースの作成と権限付与は管理者のみができます。

■一般社内利用者(契約内利用者)

付与された権限に基づき、編集閲覧ができます。編集権のあるファイル・フォルダは社外に共有することができます。

■共有社外利用者(協業先、施主)

一般社内利用者によって共有された権限に基づき、編集閲覧ができます。利用者は3Dカタログ.comの会員登録が必要です。

「ツール」-「サイトを開く」-「ATDrive管理」-「利用者設定」-「権限の変更」ボタンより細かな設定が可能です。

ATDrive運用についての Q&A

Q. ZEROのマスタ付きで共有できますか？

A. 「マスタ」-「物件にマスタを添付する」コマンドからマスタ付きで共有することができます。

Q. ZERO以外のExcelやWordファイルをアップロードすることは可能ですか？

A. 「ツール」-「サイトを開く」からATDriveのWEBサイトを開いて、画面右上にある「ファイルアップロード」コマンドからATDriveにアップロードできます。また、「こちらにファイルをドロップ」に直接ファイルをドラッグ&ドロップでアップロードできます。



Q. 3Dカタログの建材をATDriveで共有できますか？

A. 3Dカタログの建材はATDriveで共有することができません。リンク切れが発生した場合には、3Dカタログ建材のリンク切れが発生したデータを選択した状態で、「マスタ」-「建材リンク切れチェック」を行うことで、リンク切れの建材をダウンロードすることができます。

Q. 現在どのくらい容量を使っているかわかりますか？

A. 画面左下にある「保管容量」から、現在ご利用の保管容量を確認できます。



Q. 「ロック」とは、どのような意味ですか？

A. ATDriveでは、CAD編集時に、他の担当者が同じデータを編集できないように制御しています。その際、「ロック中」と表記されます。

物件を保存して終了することで、「ロック」は解除されます。

停電などパソコンのトラブルでロック中のままになった場合、「ツール」-「物件のロック解除」を行うことで、ロックしていない状態に戻すことが可能です。

※ただし、ロック解除する際には編集中の作業内容は破棄されます。